

家庭との連携について

ポイント4:家庭における学習習慣の定着

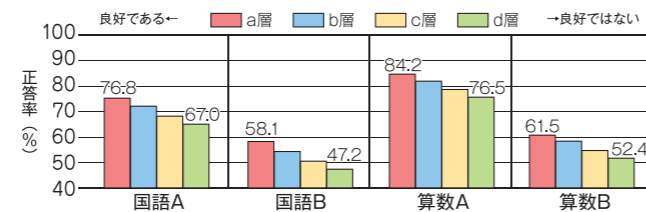
- ・家庭学習の内容を工夫するとともに、評価・指導の充実を図りましょう。
- ・保護者と連携し、家庭学習の習慣化を図りましょう。

家庭学習に関する状況

- ・家で計画を立てて勉強し、宿題や復習をしている割合は、昨年度より増えている。
- ・1時間以上勉強している割合は、昨年度より増えている。

●家庭学習と正答率の関係

家で計画を立て予習・復習するなど、家庭学習の習慣が身に付いている児童の方が、正答率が高い傾向が見られます。



ポイント5:規則正しい生活習慣の維持向上

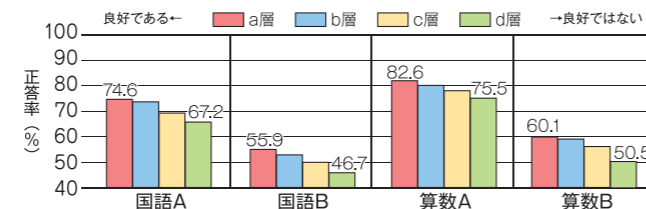
- ・「早寝 早起き 朝ごはん」を推進するなど、望ましい生活習慣の維持向上を図るため、家庭と連携を図りましょう。

家庭生活に関する状況

- ・朝食を毎日食べている、7時より前に起きる、10時より前に寝ている割合は、昨年度より増えている。
- ・テレビやビデオ・DVDの視聴時間が、昨年度より減っている。

●規則正しい生活と正答率との関係

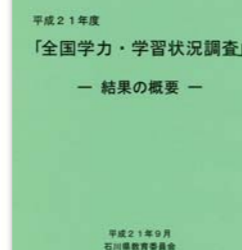
本県の児童は、朝食を毎日食べたり、同じ時刻に寝たりするなど、規則正しい生活をしている割合が全国に比べて高く、こういった生活をしている児童の方が、正答率に高い傾向が見られます。



石川県教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果をとりまとめた冊子「結果の概要」を9月に、「分析・考察」を11月に配付しました。各学校の参考となるデータや改善に向けた指導事例が記載されていますので、ぜひ活用してください。なお、石川県教育委員会HPからもダウンロードできます。

(検索)

「石川県教育委員会」→「学校指導課」→「学力調査」



子どもたちの「学力向上」を目指して!!

— 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果から —

石川県教育委員会



平成19年度より実施され、3回目となる今年度の全国学力・学習状況調査では、本県の児童は、国語・算数ともに全国平均を上回りました。学習・生活状況では、全国に比べると、算数は好きだが国語はあまり好きではない、宿題や復習をきちんとしているが、テレビやDVDをみる時間が長い、早寝早起きだが家族とのコミュニケーションは少ないという課題が見られました。

各学校では、今後の学力向上に向けた「5つのポイント」を基に、校内研修を充実させ、児童の実態や学校の実情を踏まえた実効性のある学力向上プランを検討・作成し、学校全体で取り組んでいきたいと思います。

ポイント5

規則正しい生活習慣の維持向上



ポイント1

「活用力」を高めるための指導の充実



ポイント4

家庭における学習習慣の定着



指導改善のための5つのポイント

ポイント3

自尊意識・規範意識を高める指導の充実



ポイント2

学習意欲を高めるための指導の工夫改善



学校での指導について



ポイント1:「活用力」を高めるための指導の充実

・「活用力」を高めるために、全ての教科等において、記録、要約、説明、論述など、言語活動を充実させ、学年に応じて系統的に指導を進めていきましょう。

☞ 全ての教科等において、目的に応じて資料を読むこと、内容を理解しながら読むこと、資料を活用して発表することなど、「活用力」の基盤となる言語活動を充実させることが重要であり、今後、学年に応じて系統的に指導を進めていくことが大切です。

「活用力」に関する学習状況



●「活用力」に関する学習状況と正答率との関係

次のような「活用力」に関する学習状況が良好な児童の方が、正答率が高い傾向が見られます。

★国語の授業で

- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている
- ・文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる

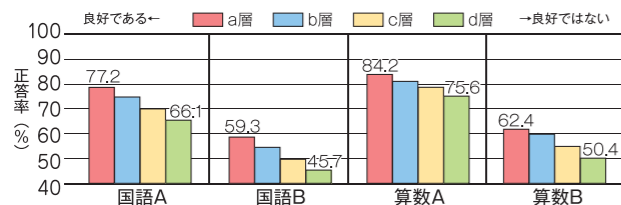
など

★算数の授業で

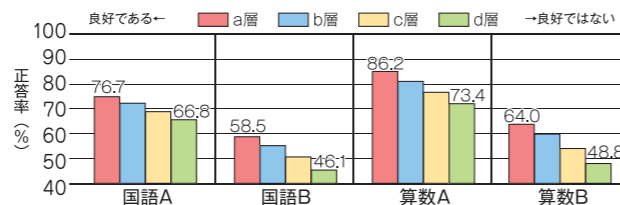
- ・問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える
- ・学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える

など

〈国語に関する学習状況〉



〈算数に関する学習状況〉



※「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」など、「活用力」に関する学習状況の質問をとりまとめ、良好な方からa層～d層に分けた。

学校の指導状況

平均正答率が高い小学校に見られる傾向は…

- ・国語の授業で、書く習慣を付ける指導を行った
- ・児童が自分で調べたことや考えたことをわかりやすく文章に書かせる指導を行った
- ・児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めた
- ・本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くような指導を行った
- ・資料を使って発表できるような指導を行った



ポイント2:学習意欲を高めるための指導の工夫改善

・わかる授業を目指し、授業改善を進めていきましょう。
・児童一人一人に、学ぶ喜びや達成感を持たせましょう。

☞ 教材・教具の工夫、教育機器の活用、課題の設定、授業の導入・展開の工夫など、わかる授業を目指し、児童一人一人に学ぶ喜びや達成感を持たせるよう、授業改善を進めることが必要です。

学習意欲に関する状況

●学習意欲と正答率との関係

次のように答えた児童の方が、正答率が高い傾向が見られます。

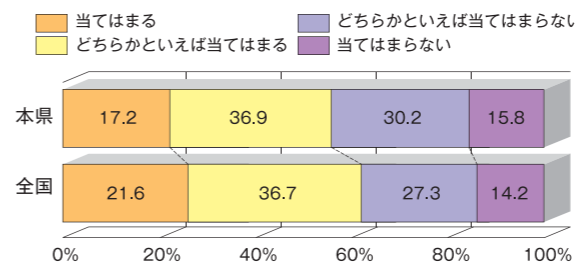
- ・国語の勉強は好きだ
- ・国語の授業内容はよくわかる
- ・読書は好きだ

- ・算数の勉強は好きだ
- ・算数の授業内容はよくわかる

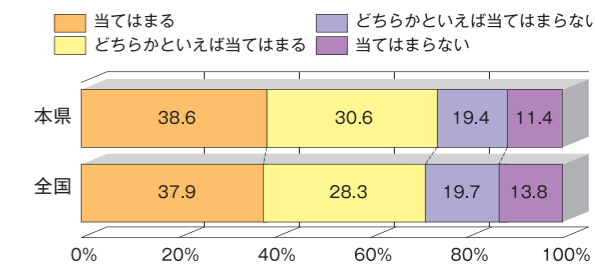
●全国との比較

全国に比べて、算数が好きな児童の割合は高いが、国語が好きな児童の割合は低いことがうかがえます。

〔国語の勉強は好きですか〕



〔算数の勉強は好きですか〕



ポイント3:自尊意識・規範意識を高める指導の充実

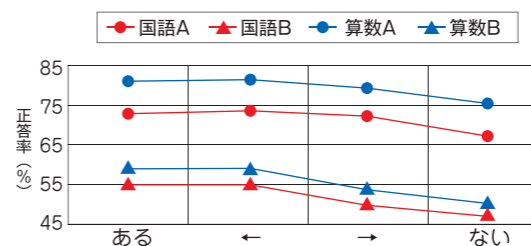
・児童の自己肯定感を高めるとともに、学校全体で学習規律の指導の徹底を図りましょう。

☞ 将来の夢や目標を持たせたり、自分のよいところに気付かせたりするなど、児童の自己肯定感を高めることが大切です。また、落ち着いて学習が進められるように学習ルールの指導の徹底を図り、規範意識を高めることが大切です。



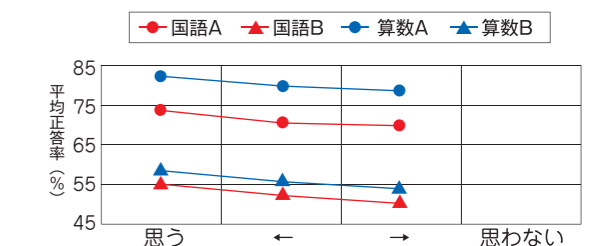
自尊意識・規範意識に関する状況

〔自分には、よいところがあると思いますか〕



「自分には、よいところがあると思う」と答えた児童の方が、正答率が高い傾向が見られます。

〔授業中私語がなく、落ち着いていると思いますか〕



「授業中私語がなく、落ち着いていると思う」と答えた学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。